

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	かつ しんいちろう		
氏名	勝 眞一郎		
所属・役職	サイバー大学 IT 総合学部 教授 鹿児島大学大学院 理工学研究科 特任教授 認定 NPO 法人離島経済新聞社 理事		
活動拠点	鹿児島県 奄美市、神奈川県 藤沢市		
略歴	1964 年生まれ。機械製造業に 18 年勤務し、モノづくりの現場で、経営、設計、製造、物流、情報システムをグローバルな舞台で実践。情報システム部門のトップを勤めてきた経験から、実践的なプロジェクトマネジメントを社会人、学生向けに伝授している。業務コンサルティングのバローレ総合研究所では、経営目標の立案から現場改善を行なっている。		
地域情報化の 専門分野・技術	以下の一連のプロセスを通して監修可能。1 つのプロセスのみでも成果を確実に出す。 ① 現状分析とゴール設定（数値化）：ワークショップ、課題の構造化 ② 実行計画策定→必要に応じ IT も使った提案 ③ 実行手順書と効果測定（KPI 測定） ④ 改善計画と人材育成		
専門分野	オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 教育情報化／情報教育 テレワーク 地域ビジネス 観光 プロジェクトマネジメント支援		
自治体向けメッセージ	自治体の総合計画立案、KPI の設定、庁員の企画力研修など行なっています。ピンポイントでなく、地域課題の抽出、実施計画の策定、効果測定まで庁員、地域住民と一体となってフォローアップします。		
関連サイト	http://www.cyber-u.ac.jp/faculty/teacher/katsu_shinichiro.html http://www.amami-freelance.com/		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	1. 新たな社会のあり方への挑戦-定住自立圏研究所設立にあたって 単著 2010 年 3 月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第 2 号 pp.85-87 2. 地域特性に対応した定住自立圏モデルの基盤構築 単著 2011 年 3 月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第 3 号 pp.105-108 3. 奄美群島の地域活性化に向けた取り組み 単著 2012 年 3 月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第 4 号 pp.27-33 4. 災害復旧・復興支援・対策に関する ICT プロジェクトの実態と今後の課題 単著 2012 年 3 月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第 4 号 pp.54-63	

		5. IT 系企業で盛り上がる奄美大島の奇跡 研究発表 2013 年 7 月 シンポジウム『地域を変える力～情報技術による島の振興～』（鹿児島大学） 6. 奄美群島における遠隔教育の普及・啓発 単著 2014 年 9 月 サイバー大学 『e ラーニング研究』第 3 号 pp.15-22 7. 沖縄県離島の小中学校におけるオンライン型 e-ラーニングによる教育格差是正への取り組み 単著 2015 年 9 月 サイバー大学 『e ラーニング研究』第 4 号 pp.27-32
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	・鹿児島県奄美市：奄美市の地域情報化計画立案、IT 企業誘致・育成、フリーランス支援 ・長崎県五島市：五島市の官民連携地域情報メディアの立ち上げ支援 ・宮崎県日南市：日南市の地域情報メディアの立ち上げ支援 ・鹿児島県指宿市：移住促進のためのフリーランス支援策立案支援